

履修方法

看護学研究科【修士課程】

教育課程等の概要

■領域の概要

基盤看護学領域

- 基礎看護学 看護学の学的構造を理解し、看護学の全体像を明らかにします。さらに看護の実践方法について学修します。
- 看護情報・管理学 看護情報学と看護管理学の両領域を学際的、包括的、発展的に取り扱うあらたな領域として、より幅広い視座のもとで看護における情報とそのマネジメントについて探究します。

実践看護学領域

- 慢性看護学 がんを含む慢性疾患とともに生きる人たちのセルフケアを支援し、QOLの向上に寄与できる人材を育成します。
- 母子看護学 乳幼児を中心とした、母子、親子の関係性を理解し、援助するための理論と実践の基礎と、その研究方法の基礎を修得することを目指す。
- 地域看護学 地域看護に必要な看護活動について幅広く学び、さらに専門職としての実践能力や研究能力の育成を図ります。
- 老年看護学 「生物としての人とその生命過程における老年期」の科学的理解を基盤に、老年看護の目的と対象、有効な実践方法を究明します。
- 精神看護学 病の意味について哲学的視点から考察します。さらに心身の癒しについて探求し、精神療法や芸術療法の理論と実践方法を学びます。
- クリティカルケア看護学 クリティカルケア看護を必要とする人を中心に据え、その人を取り巻く環境、家族や知人、社会資源などの間に存在する問題に目を向け、看護だけにとらわれないマクロな視点を持つ能力を養います。

■授業科目一覧

区分	授業科目	開講年次	単位数		
			必修	選択	
共通科目	看護理論特論	1年次前期	2		
	看護研究特論	1年次前期	2		
	看護教育学特論	1年次後期		2	
	看護倫理学特論	1年次後期		2	
	実用英語特論	1～2年次後期		2	
	解剖学特論	1～2年次前期		2	
	解剖生理学実習	1～2年次後期		2	
	生理学特論	1～2年次前期		2	
	疾患学特論	1～2年次後期		2	
	臨床心理学特論	1～2年次前期		2	
	基盤看護学領域	基礎看護学特論Ⅰ	1年次前期		2
基礎看護学特論Ⅱ		1年次前期		2	
基礎看護学特論Ⅲ		1年次後期		2	
基礎看護学特論Ⅳ		1年次後期		2	
基礎看護学演習		2年次前期		2	
看護情報・管理学特論Ⅰ		1年次前期		2	
看護情報・管理学特論Ⅱ		1年次前期		2	
看護情報・管理学演習Ⅰ		1年次前期		2	
看護情報・管理学演習Ⅱ		1年次前期		2	
看護情報・管理学演習Ⅲ		1年次後期		2	
専門科目		実践看護学領域	慢性看護学特論Ⅰ	1年次前期	
	慢性看護学特論Ⅱ		1年次前期		2
	慢性看護学特論Ⅲ		1年次前期		2
	慢性看護学演習Ⅰ		1年次通年		2
	慢性看護学演習Ⅱ		1年次通年		2
	母子看護学特論Ⅰ		1年次前期		2
	母子看護学特論Ⅱ		1年次前期		2
	母子看護学特論Ⅲ		1年次前期		2
	母子看護学演習Ⅰ		1年次通年		2
	母子看護学演習Ⅱ		1年次通年		2
	地域看護学特論Ⅰ		1年次前期		2
	地域看護学特論Ⅱ	1年次前期		2	
	地域看護学演習Ⅰ	1年次前期		2	
	地域看護学演習Ⅱ	1年次通年		4	
	老年看護学特論Ⅰ	1年次前期		2	
	老年看護学特論Ⅱ	1年次前期		2	
	老年看護学特論Ⅲ	1年次前期		2	
	老年看護学演習Ⅰ	1年次通年		2	
	老年看護学演習Ⅱ	1年次通年		2	
	精神看護学特論Ⅰ	1年次前期		2	
	精神看護学特論Ⅱ	1年次前期		2	
精神看護学特論Ⅲ	1年次前期		2		
精神看護学演習Ⅰ	1年次通年		2		
精神看護学演習Ⅱ	1年次通年		2		
クリティカルケア看護学特論Ⅰ	1年次前期		2		
クリティカルケア看護学特論Ⅱ	1年次前期		2		
クリティカルケア看護学特論Ⅲ	1年次前期		2		
クリティカルケア看護学演習Ⅰ	1年次通年		2		
クリティカルケア看護学演習Ⅱ	1年次通年		2		
	特別研究	1～2年次通年	8		

研究テーマ

看護学研究科【修士課程】

特別研究テーマおよび指導教員

特別研究テーマ	指導教員
<ul style="list-style-type: none"> ●実践、教育、研究など看護のあらゆる局面に根ざすデータ・情報・知識にかかわる理論構築、理論検証、システム開発 ●看護管理における意思決定に資するエビデンスの開発 	<p>前田 樹海 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師 ●保健師
<ul style="list-style-type: none"> ●小児看護学分野に関するテーマおよび教育的介入プログラムの実践・評価に関する研究指導を行う。 	<p>西山 智春 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師
<ul style="list-style-type: none"> ●老年看護学分野における諸課題に関し、研究指導を行う。 <p>キーワード：エンドオブライフケア 老衰 虚弱 認知症 地域包括ケア</p>	<p>川上 嘉明 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師 ●社会福祉士 ●ケアマネージャー
<ul style="list-style-type: none"> ●精神看護学、精神保健に関するテーマについて、研究指導を行う。 <p>(精神科訪問看護、精神科アウトリーチ支援、精神科地域支援 等)</p>	<p>角田 秋 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(保健学) ●看護師 ●保健師 ●精神保健福祉士
<ul style="list-style-type: none"> ●ケア現場の倫理的諸問題に対する介入モデルの構築と効果検証 ●概念形成を促進する教育介入プログラムの構築と実践的評価 <p>キーワード：モラルスペース、モラルイマジネーション、概念形成、アクションリサーチ</p>	<p>田仲 珠恵 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師
<ul style="list-style-type: none"> ●「看護は学問か」という根源的な問いに対し、既存の枠組みに捉われず、その学問的基盤とケアの本質を再定義する研究 ●ミクロ経済学の理論枠組みを触媒に、看護という営みを客観的かつ俯瞰的な視点から構造化する、独自の学際的な研究 	<p>北島 泰子 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(経済学) ●看護師 ●救急救命士
<ul style="list-style-type: none"> ●「標準化」と「アドボカシー」の融合による、慢性期・終末期の尊厳の保持に関する研究：多文化共生社会における慢性期・終末期のアドボカシー、クリニカルパスの「標準化」と「個別化」の統合 	<p>笹鹿 美帆子 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師
<ul style="list-style-type: none"> ●がん看護、緩和ケアに関するテーマについて研究指導を行う。 <p>キーワード：がん、意思決定支援、高齢がん患者、AYA世代、緩和ケア</p>	<p>門脇 緑 講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師 ●保健師
<ul style="list-style-type: none"> ●母性看護学および助産学分野において、女性のライフサイクル全体を見据え、対象者の主体性を尊重した実践に関する研究指導を行う。 <p>キーワード：主体性 経産婦 性教育 育児支援</p>	<p>森山 希 講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博士(看護学) ●看護師 ●保健師 ●助産師

修業年限・修了要件および授与される学位等

■修業年限 2年

■修了要件および授与される学位等

【単位の修得方法・修了要件】

共通科目12単位以上(必修科目4単位を含む)、専門科目10単位以上、特別研究8単位、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること。

【学位】

修了要件を満たした者に対して、修士(看護学)の学位を授与する。